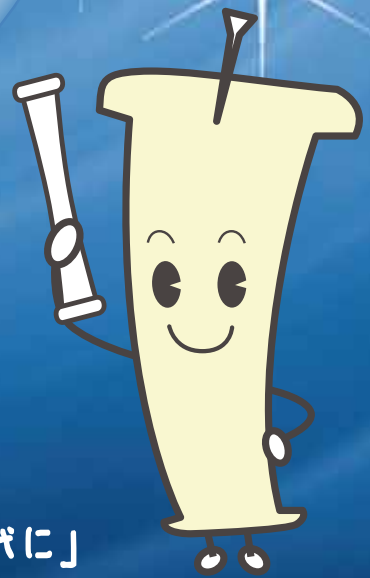
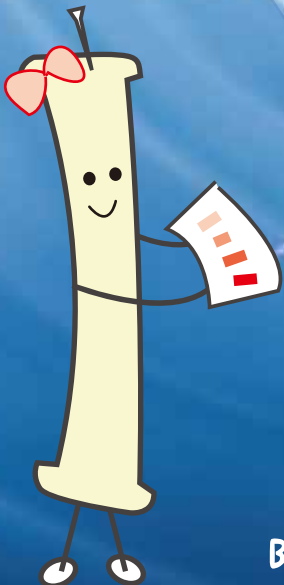


わくわくちょうさたい

WAQU² 2018

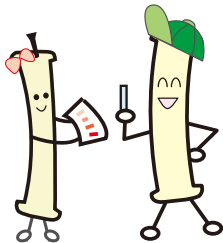
調査隊

ちょうさけっか
調査結果



BYOキャッチフレーズ「飲める水 遊べる水辺 次世代に」

公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構 (BYQ) では、身近な川への関心が薄れてきている中、昔のように川と親しむきっかけをつくることで、水環境を考えなおす時間づくりを目指した WAQU² (わくわく) 調査隊を平成16年 (2004年) に結成し、活動を行っています。



調査の概要

調査実施日

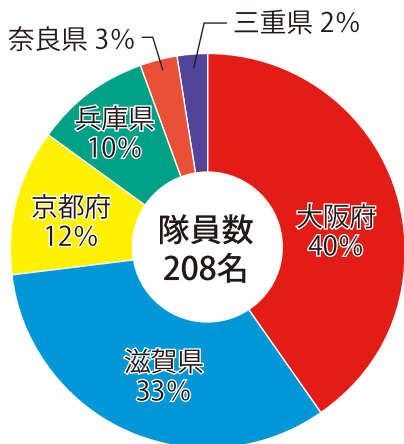
平成30年6月3日 (日)

※天候や調査隊員の都合等により、左記の日以外に調査を実施している地点があります。

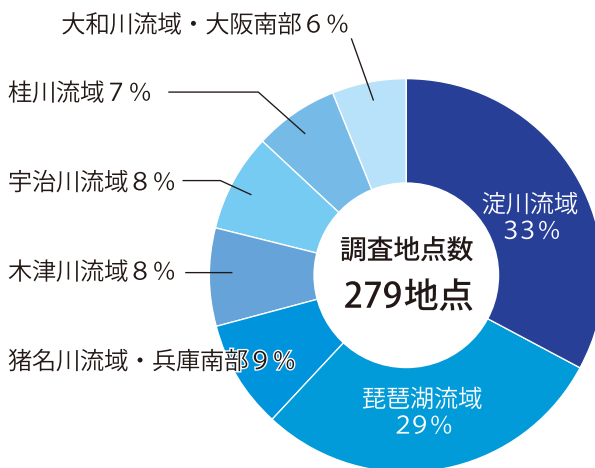
調査項目

COD、アンモニウム態窒素 (NH₄-N)、硝酸態窒素 (NO₃-N)、りん酸態りん (PO₄-P)
川の濁り・臭い、川原の観察、川の水深、水中の川底の観察

調査隊員

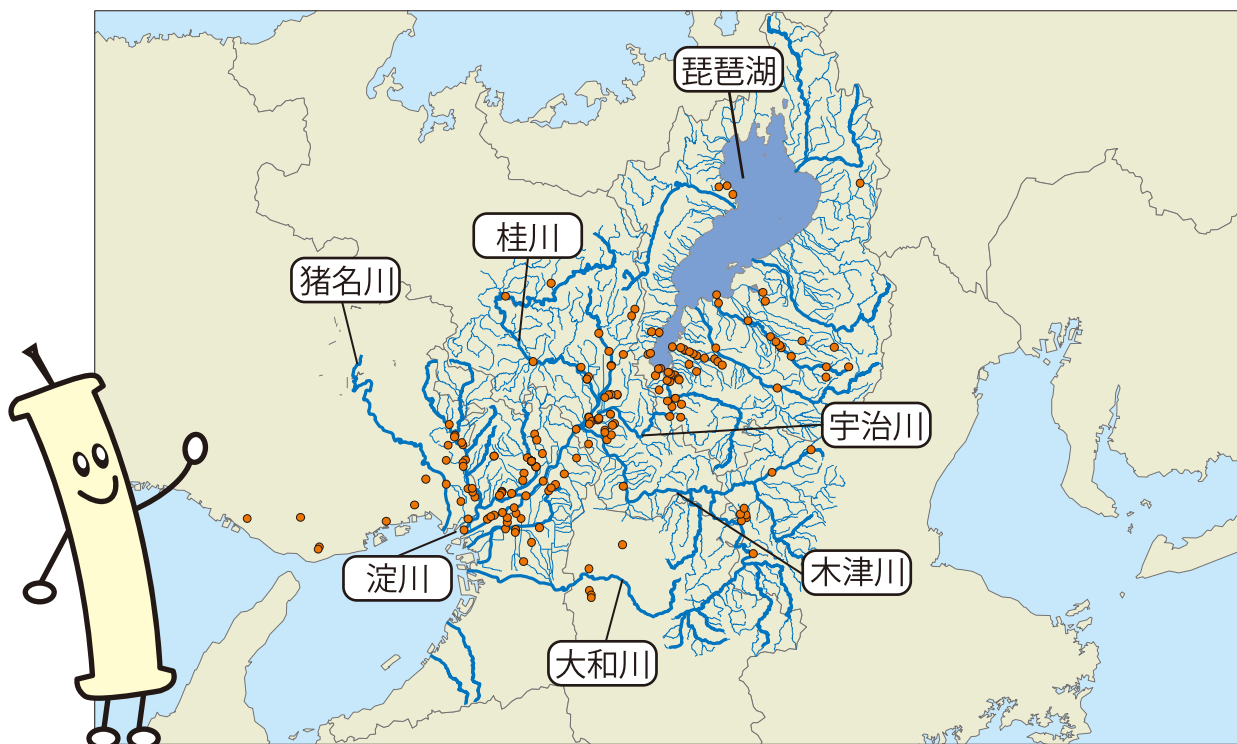


調査地点数



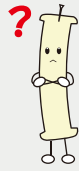
※隊員数、調査地点数とも、2018年6月時点の参加登録数
※隊員数の府県別構成比は、小数点以下を四捨五入しています。

調査地点分布状況

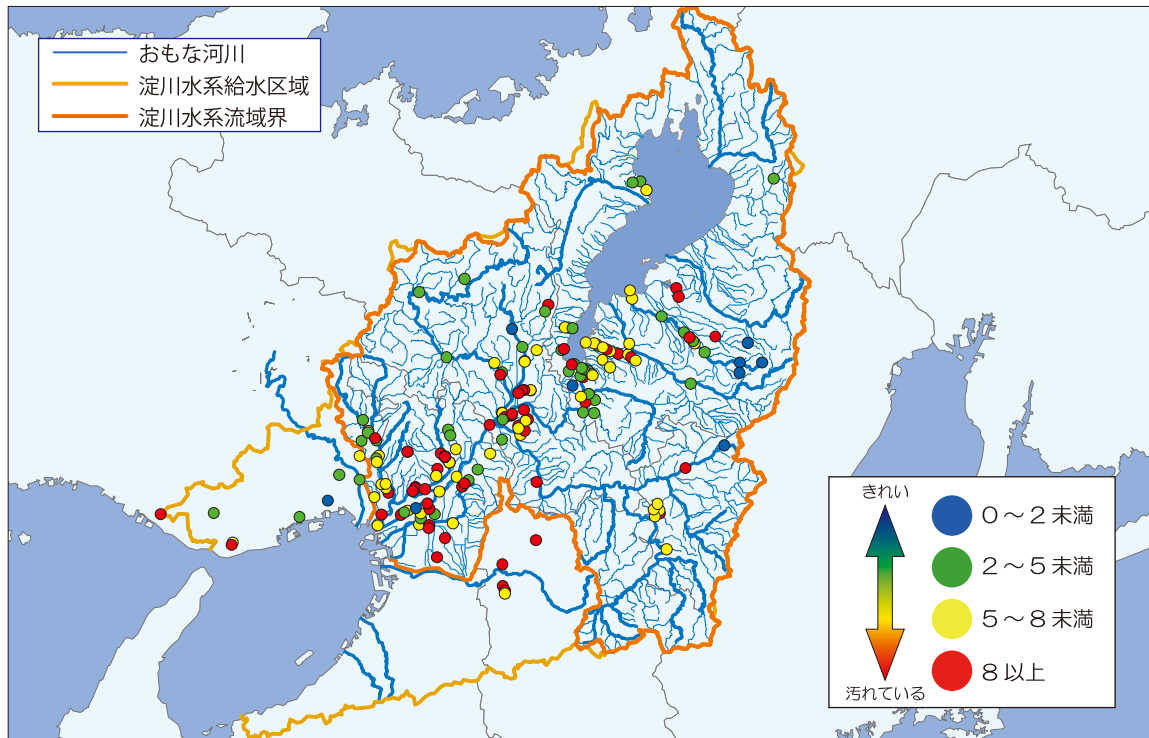


※調査結果の報告があった地点をプロットしています。

COD(化学的酸素要求量)



水の汚れを示す代表的な指標。強力な酸化剤を加えて水中の有機物を酸化するとき使用(消費)した酸化剤の酸素の量。CODが高いということは、水中に酸素と反応しやすい物質がたくさん入っていると考えられます(河川や湖沼水の場合、すぐ近くに生活排水や汚水が流れ込んでいる可能性があります)。水中の酸素が消費されやすいので、特に流れのない場所では、酸素不足になって魚が棲めなくなってしまいます。自然の浄化作用も低下してしまいます。

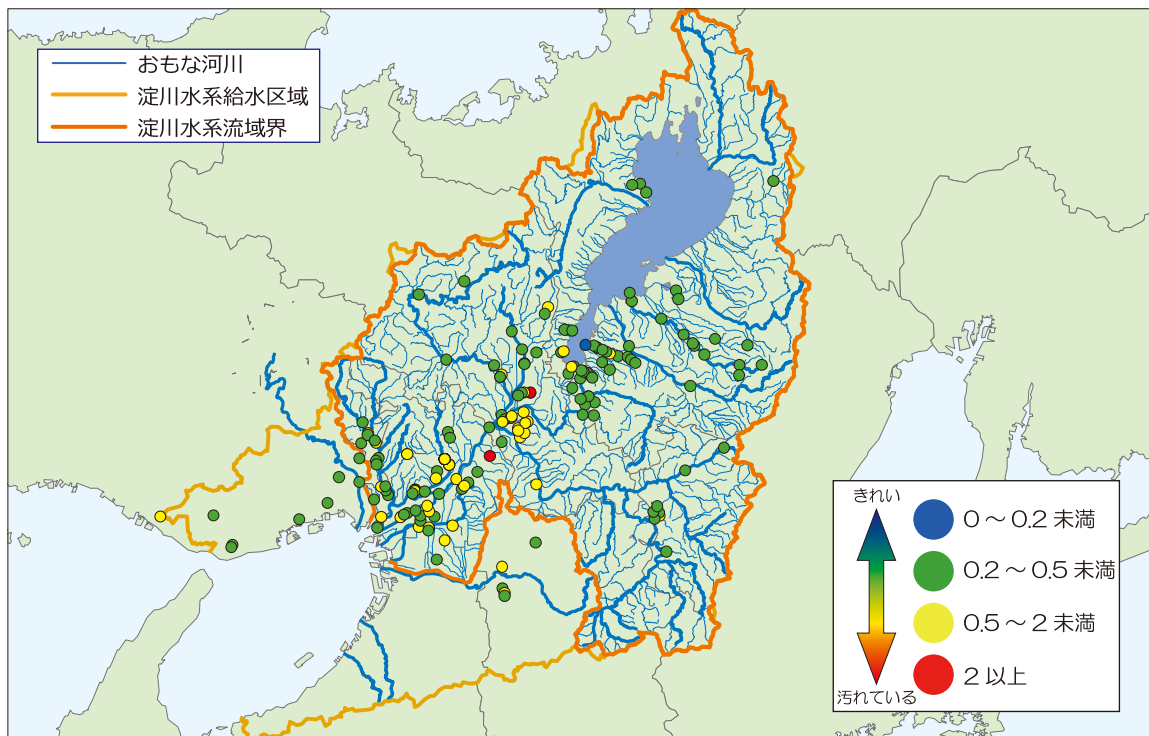


CODの測定結果は、3回測定の平均値をプロットしています。※はずれ値は除外しています。

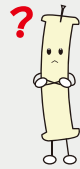
NH₄-N(アンモニウム態窒素)



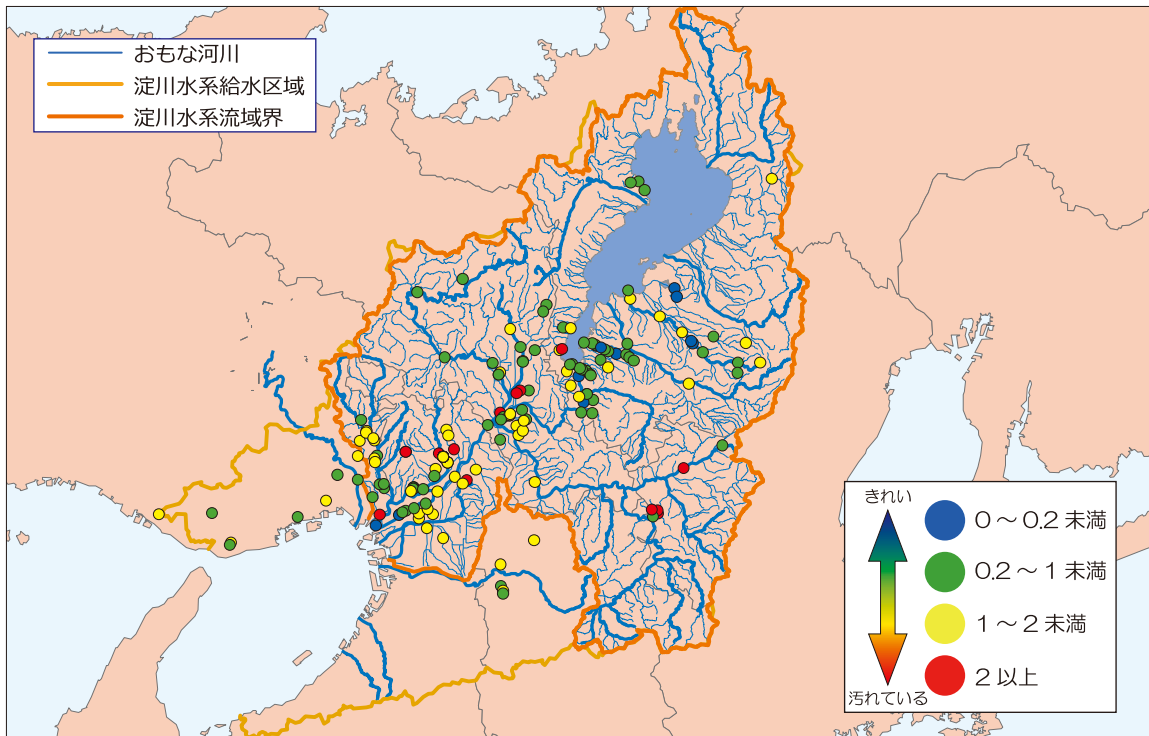
アンモニウムイオンをその窒素量で表したもの。タンパク質、尿素、尿酸等の有機性窒素の分解で生成され、窒素系による汚染を表しています。主な発生源は、し尿、生活排水、肥料、化学等の工場排水など。アンモニウム態窒素が高いということは、生活排水から汚染源が近いことを示しています。また工場排水、田畑からの肥料分の流入が考えられます。微量のアンモニウムイオン自体は衛生上無害ですが、井戸水、上水から検出される場合には、その水が病原生物に汚染されている可能性があります。



NO₃-N (硝酸態窒素)



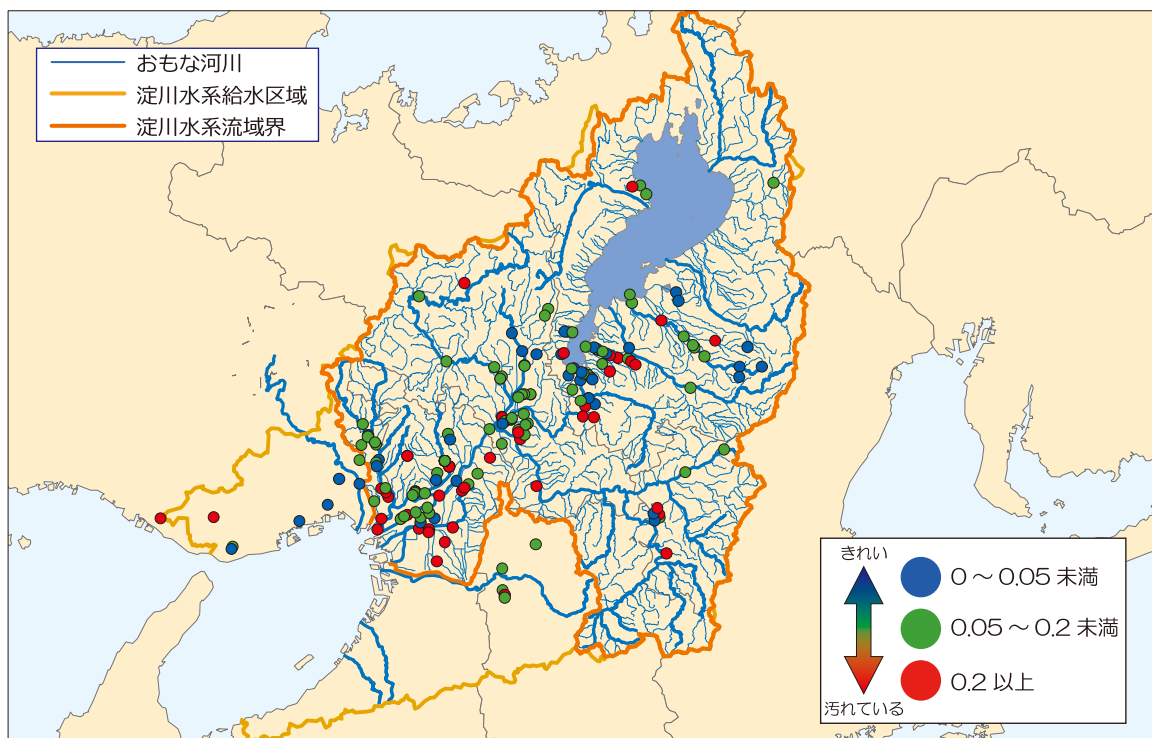
アンモニア、亜硝酸が酸化することによって生成される窒素化合物の最終形態。水道法の基準では亜硝酸性窒素と硝酸性窒素の合計量が10mg/L以下と定められています。硝酸態窒素が高いということは、以前生活排水などが多かったことを示しています。地域によっては肥料などが混入していることもあります。地質的なこともあり、直接水質汚染とは関係ない場合もあります。値が高いと飲料水には不適になり、さらに富栄養化現象である藻類や植物性プランクトンの異常繁殖の原因になります。



PO₄-P (りん酸態りん)



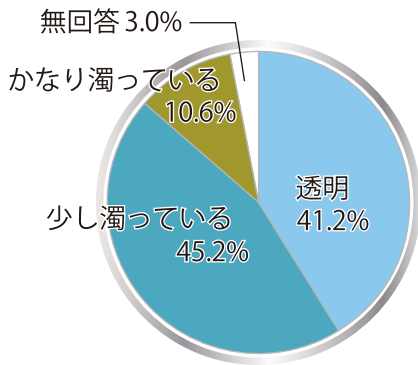
自然の状態では一般にわずかしかが存在しない物質であり、河川や湖沼で測定された場合は、生活排水などの汚染源によるものと推測されます。りん酸態りんが高いということは、生物の分解、生活排水の流れ込みなどが多く考えられています。通常、水中にはわずかしかが存在しませんが、植物の生育には重要な要素です。しかし、増加しすぎると藻類の異常発生などの環境に大きな影響を与えます。



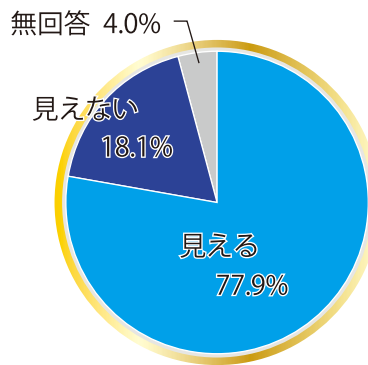
調査結果（その他項目）

6月におこなった水質調査にご協力ならびにご意見・ご感想をお寄せいただき、ありがとうございました。
 パッケージ 4 項目以外の調査結果を掲載します。（回答地点数は199カ所）

にごりの状況



川の中が見えるか



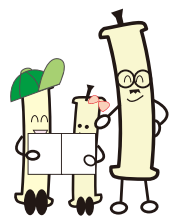
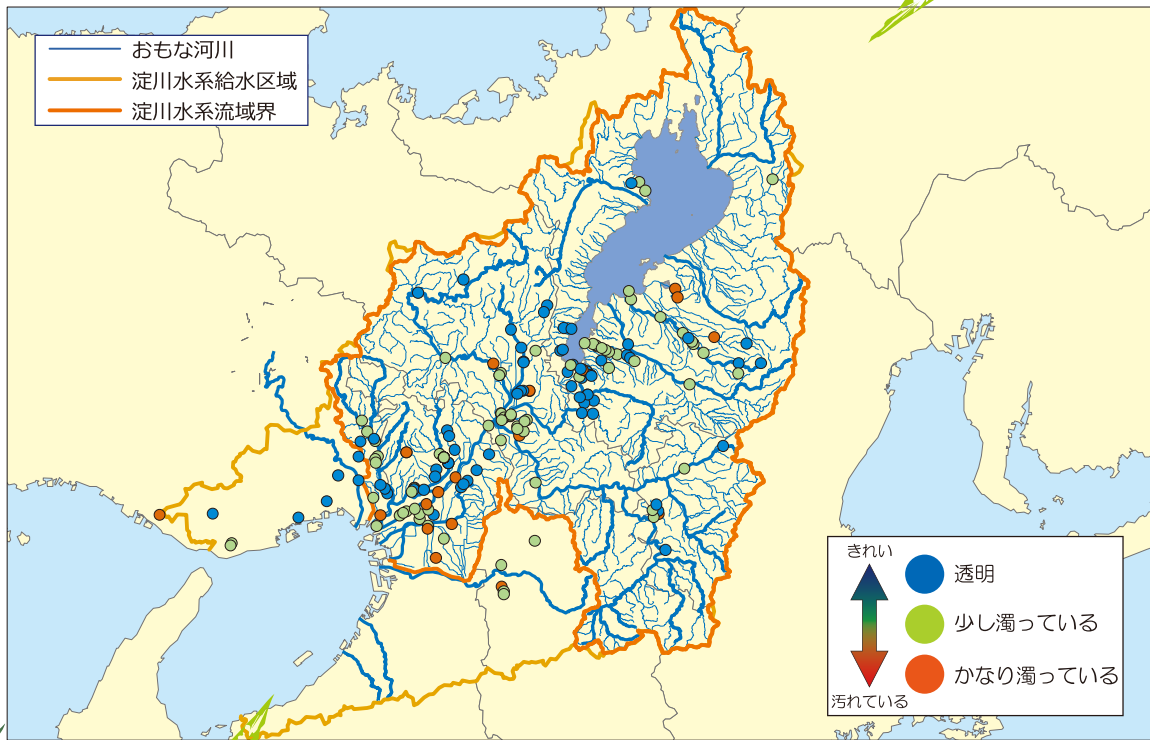
濁りの様子は？

- ・岸に泡があった。
- ・今年は田植え後の濁水の影響が残っている様である。
- ・水の流れのない所の水がヘドロ化して油が浮いている。

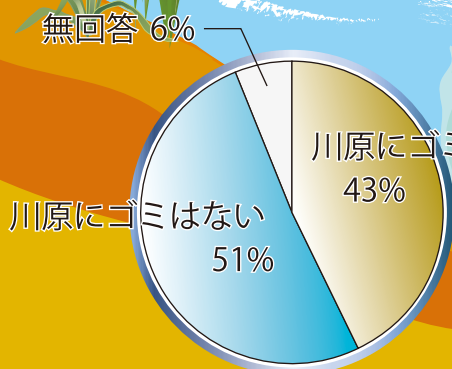
こんな生き物を発見！

- ・冬に水鳥がたくさん来るようになった。
- ・GWごろ毎年ニゴイが遡上する。
- ・アユの遡上がみられます。
- ・測定中、三光鳥の鳴き声が聞こえ嬉しかった。
- ・今回水辺・水中にいた生物：アオサギ、鯉、亀

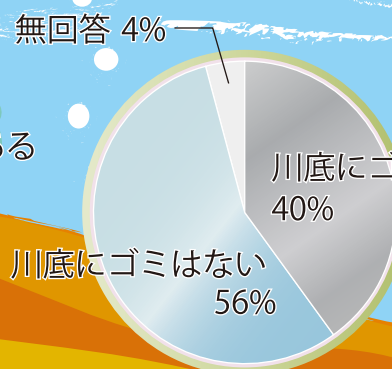
※調査票の記述をもとに抜粋



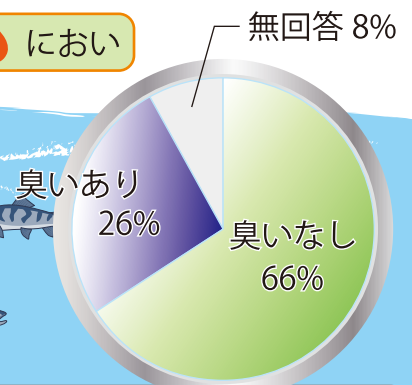
川原にゴミがあるか



川底にゴミがあるか



におい



- ・ヘドロのような臭い
- ・生ゴミの臭い
- ・夏場になると水量が減り独特の臭いがする。
- ・少し塩素臭
- ・薬品のような臭い

※調査票の記述をもとに抜粋



公益財団法人 **琵琶湖・淀川水質保全機構**

WAQU² (わくわく) 調査隊事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目2番15号
(大手前センタービル4階)

TEL (06)6920-3035 FAX(06)6920-3036